



# 若竹だより



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩  
郷土の恩・大自然の恩

【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう  
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

## 【巻頭言】

### 夏休み

#### 園長 宮竹 恒

暑中お見舞い申し上げます。長い梅雨が明け、夏の暑さが厳しくなると同時に子どもたちは夏休みを迎えました。

7月20日終業式、校長先生のお話を静かにしっかり聴いている子どもたちの姿を見て、1学期間の一人一人の成長を感じました。

今年は、2学期の始業式が9月1日になり、例年に比べ、長い夏休みとなります。

この長い夏休みをどう過ごすかが子どもたちにとって、とても大切になります。中学3年生にとっては、進路を決める大切な夏休みになるかもしれません。宿題を最後までやりきることが成長につながる子どももいれば、しっかり外で遊んで体力をつけることが成長につながる子どももいます。

終業式の日子どもたちに「小さなことを積み重ねていくこと」「関心を持って過ごすこと」の大切さについて伝えました。

そのきっかけになったのは、埼玉県の小学6年生の夏休みの自由研究が大学講師の先生と共同で論文を発表するに至ったことを知ったことでした。彼はカブトムシがシマネトリコという樹に昼間に集まっていることに関心を持ち、毎日、細かく観察を続けました。その結果、夜行性と言われるカブトムシが昼間も活動していることを発見しました。

彼の発見は、普段見過ごしていることに関心を持つことで大きな発見があり、更にコツコツと積み重ねることが偉大な成果につながることを教えてくれています。

そして、彼の発見の素晴らしさに気づき、共同論文という形を作られた講師の先生の姿にも感じるものがありました。子どもの発想に関心を持ち、子どもの素晴らしさに気付くことの大切さを学ばせて頂きました。

子どもたちが何に興味や関心を持って取り組むかは、個性の違いもあり未知なところはありますが夏休みが大きなチャンスであることは確かです。

2021年の夏休みは、東京オリンピックと共に始まりました。子どもたちにとっては、貴重な経験の一つになります。開会式を中学生の子どもと一緒に観ました。競技が始まり、観戦している子どもから「日本、金メダルだったよ。」と嬉しそうな声があがりました。

オリンピックに関心のある子どももいない子どももいますが、選手の活躍する姿の中に感動や学びがあれば良いと思います。

夏休みは、始まったばかりですが、子どもたちが自分に興味・関心があることを楽しみ、良い夏休みの思い出とともに成長し、2学期が迎えられるよう職員と一緒に取り組んで行きたいと思います。

—了—

# 青峰・若竹学級だよ！ 7月



今年の夏は、国分寺町のB&G屋内プールで水泳学習を3回実施しました。新型コロナウイルス感染症の流行で、子どもたちの校外活動はなかなかありませんでしたが、1年ぶりのプールを楽しみながら一生懸命に取り組みました。これまで泳げなかった児童・生徒も、水に顔を付けて蹴伸びができるようになったり、息継ぎができなかった児童・生徒ができるようになったりと、各自上達しました。合同練習が終わった後は、記録を取ったり大きなビート板を使って友だちと楽しんだりしました。

## 本格的な美術作品づくり

7月8日には小中合同図画工作・美術をホールで行いました。いろいろな技法の説明を受けたあと、各班でテーマを設定し、みんなで協力して作品を完成させました。下の作品は「夏の祭り」をテーマに、にじみ・スパッタリングなどの技法を用いて楽しい祭りのイメージを作品にしました。



七夕



7月5日に七夕の飾りつけを行いました。今年も子どもたちが短冊にお願いごとを書き、自分で笹に結びつけました。



短冊には、「園生や家族、職員が健康に過ごせますように。」や、「コロナウイルスが早く終息しますように。」など、様々なお願いごとが書かれていました。

また、女の子たちを中心に、折り紙でたくさんの可愛らしい飾りつけを作ってくれました。織姫様と彦星様の人形や、星をモチーフにした飾りなど、色とりどりのユニークな飾りつけで、笹の葉が一段と華やかになりました。



一階玄関に笹の葉を飾り、準備万端です。子どもからは天の川を観察したいと要望もあり楽しみに当日を迎えました。しかし生憎雨でした。残念です。子どもたちの願い事は叶いますように。

## 防災センター



7月23日（金）に香川県防災センターに体験学習に行ってきました。4つの体験コーナーを職員と子どもたちと一緒にまわり、普段

の防災訓練では学べないところを、たくさん教えてもらいました。



参加後、子どもに感想を聞いてみました。  
火災体験

『映像の火を水消火器で上手く消化できてよかった。』

煙避難体験

『早く移動できても、煙を吸わずに逃げることは難しかった。』

風速体験

『風速 30メートルの風の強さは凄い。風に向かって自分が大声を出してみたけど自分の出す声が全く聞こえなかった。』

地震体験訓練

『訓練だと分かっているけど大きな揺れに驚き、強く机の脚を強く握っていた。』



毎月学園でマニュアルに準じて、訓練を行っていますが、今回の体験から、子どもたち・職員と一緒に『もし本当に災害が起きたらどうしたらいいんだろう』と具体的にイメージし訓練に取り組んでいきたいと思っています。また

マニュアルも、何度も見直しをしていきたいと考えています。



外出でした。

30分程度の滞在時間でしたがそれぞれ借りたかった本やCDを一生懸命に探して持参したバックもすぐに一杯になりました。学園に戻るまで待ちきれず帰りの車中で本を読みだす子どももいました。久しぶりに充実した時間を過ごせたと思っています。

早くコロナが終息してたくさん外出が出来る日が来る事を願っています。



### コロナ対策万端!!

7月8日、9日に誕生日ケーキ作りを行いました。9日の夕食時に、7月生まれの子どものお祝いをしました。先月までは、ケーキの上にもろうそくを立て、誕生日者が吹き消すことをやっていましたが、今回は、子どもから「コロナ対策の観点からもケーキの上にもろうそくを立てたりは嫌だ」と要望があり、ケーキの上にもろうそくを立てて吹き消すのではなく、特製の台を作り、そこにろうそくを立てて吹き消すようにしました。初めは、恥ずかしそうにしていたが、みんなからお祝いされると喜んでいました。子どもから教えられたコロナ対策でした。



7月16日、全員で市立図書館へ行ってきました。新型コロナウイルスの影響で図書館へ行けてなかったので、久しぶりの図書館への

## 7月行事

2日	買い物外出
8日、9日	誕生日ケーキ作り
16日	図書館
23日	防災センター
27日	海水浴

### 在籍人数

令和3年8月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	4	4	8
中学生	13	0	13
合計	17	4	21

### 編集後記

1  
2  
3  
4  
5

今月はプール学習やカヌー体験など、夏ならではの行事があり、子どもたちの楽しそうな表情がたくさん見られました。今後も様々な体験が出来るように考えていきたいです。 大室



### 第328発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール [wakatake@4on.or.jp](mailto:wakatake@4on.or.jp)

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒

